

横浜市22年度決算を審査

文化事業・施設の充実に要望

公明党横浜市会議員団

仁田 まさとし

横浜市の平成22年度の決算について審査する決算特別委員会が9月28日から10月18日まで行われました。

私は10月5日、視察調査を踏まえ、文化観光局審査の質疑を行いました。

文化観光局は、文化・芸術、観光分野の施策を集積し、局再編により、今年度から誕生した局です。

市民生活を豊かにするた

見解が示されました。



仁田まさとし プロフィール

- 政策・総務・財政委員会副委員長
  - 横浜経済活性化特別委員会委員
  - 公明党横浜市会議員団団長
  - ◇ 施政方針は「大胆に挑戦、誠実に実現」
- ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>

ヨコハマトリエンナーレ

3年に1度の現代アート展「ヨコハマトリエンナーレ」は8月から始まり11月6日まで行われています。

入場者数の目標をすでにクリアしており、好調です。

過去3回は主催者に加わ

っていた国際交流基金が国の事業仕分けの対象となり、主催者から外れ、今回は横浜市が中心となって事業を展開しています。

局を継続していく旨の答弁がありました。

横浜美術館・横浜みなとみらいホール

専門文化施設である「横浜美術館」と「横浜みなとみらいホール」は指定管理者制度により、市の外郭団体「横浜市芸術文化振興財団」が管理運営しています。

指定管理が始まった平成18年度以降、美術館の魅力が低下しているという声

山下公園前の「横浜人形の家」は平成18年にリニューアルし、市の外郭団体「横浜観光コンベンション・ビジネスセンター」に管理・運営を任せられています。

22年度の入館者数は改装前と同じ16万人にまで落ち込

耳にします。市からの限られた予算では、美術館で高額な作品が購入できないケースもあります。収蔵場所が狭いことや、ベテラン芸員が他の美術館に移ってしまうという設備、人材面の課題を指摘しました。

このような状況を踏まえ、両施設の指定管理のあり方を今後、十分検討し、市民に質の高い事業を提供するように要請しました。

人形の家、バス停名に工夫を

収蔵庫の狭さなどに問題があると指摘し、改善を求めました。さらに、人形の家

私もこれからも、世界に通用する創造的な横浜市の構築を目指していきます。